

# 修飾語

組 番 月 日

正答数

名前

3

ねらい ●修飾語について理解してやる。

## 要点チェック

### ●修飾語

文には、主語、述語のほかに、修飾語があります。

修飾語は、「いつ・どこで・どこ(だれ・何)の・どこ(だれ・何)に・どこ(だれ・何)を・どんな・どのくらい・どのように」などにあたる言葉です。

例 わたしは、きのう、公園で遊びました。

「きのう」…いつ

「公園で」…どこで

「きのう」も「公園で」も、「遊びました」をくわしく説明しています。

例 白い犬がうろうろ歩いていきます。

「白い」…どんな

「うろうろ」…どのよう

「白い」は、「犬が」をくわしく説明しています。

「うろうろ」は、「歩いていきます」をくわしく説明しています。

\*どの言葉が、どの言葉をくわしく説明しているかは、二つの言葉が続けてみればわかります。

例 ひきだしの おくに 一まいの 花の 写真がありました。

ひきだしの—おくに おくに—ありました

一まいの—写真が 花の—写真が

### 問題

次の文の——線の言葉は、どの言葉をくわしく説明していますか。あとから一つずつ選びましょう。

- (1) となりの家の大きな犬がほえている。 〔 〕  
 1 となりの 2 家の 3 犬が 4 ほえている
- (2) 美しい花がさいているのを、うっとりとながめていた。 〔 〕  
 1 美しい 2 花が 3 さいているのを 4 ながめていた
- (3) お母さんは、わたしにいつもおいしいケーキを焼いてくれます。 〔 〕  
 1 いつも 2 おいしい 3 ケーキを 4 焼いてくれます

修飾語

(3) (2) (1)  
4 4 3



(1)は「大きな」、(2)は「うっとり」と、(3)は「わたしに」のすぐあとに続けて、意味が通じる部分をさがしましょう。

# ふしどふしど言葉

名前

組番

月日

正答数

2



●こそあど言葉の使い方がわかる。



●こそあど言葉

「これ・それ・あれ・どれ」「この・その・あの・どの」「など、何かを指ししめす言葉を、「こそあど言葉」といいます。

ほかに：……「こう・そう・ああ・どう」「ここ・そこ・あそこ・どこ」「どこ」など

## 例題

次の①、②、③に入る言葉を、あとから一つずつ選びましょう。

「えみこがペンを持って、たくろうと話している。」

えみこ

① ペン、書きやすくて、色もとてもきれいなんだよ。

たくろう

「へえ、ぼくもほしいな。」

えみこ

③ の角を曲がったところの文ぼう具屋さんだよ。」

- |   |     |   |    |
|---|-----|---|----|
| 1 | この  | 2 | あの |
| 3 | あそこ | 4 | どこ |

## 考え方

「こ」…話し手の近くにあるもの(こと)を指す。

「そ」…聞き手の近くにあるもの(こと)を指す。

「あ」…話し手からも聞き手からも遠いもの(こと)を指す。

「ど」…わからないもの(こと)を指す。

(話し手) (指ししめすもの) (近くにある)  
①…えみこさんはペンを持っているので、「あの」でなく「この」が入りますね。

## 答え

- ① 1    ② 4    ③ 3



## 問題

次の文章の——線の言葉は、何を指していますか。それぞれ、文章の中からぬきだしましょう。

(1) わたしは、緑色のスカートをはいています。これは、おばあちゃんに買ったものでした。

(2) このごろ、学校ではやっていることがあります。それは、きれいな紙に手紙を書いて、いろいろな形になって、友だちと交かんすることです。

- (1) 緑色のスカート  
(2) (このごろ、)学校ではやってい  
ること

- 答えを、「これ」「それ」などのかわ  
りに入れてみて、文章がうまくつづく  
かどうか、たしかめましょう。
- (1) 緑色のスカートは、おばあちゃん  
に買ってもらったものです。
- (2) (このごろ、)学校ではやっている  
ことは、きれいな紙に手紙を書いて、  
いろいろな形において、友だちと交  
かんすることです。

# 漢字辞典の使い方

名前	組番	月日	正答数 2

ねらい

●漢字辞典の使い方がわかる。

## 要点チェック

### ●漢字辞典の使い方

漢字辞典で漢字をさがすには、次の三つの方法があります。

・漢字の部首がわかるとき……部首さくいんを使う。

【手順】① 部首の画数を数える。

- ② 部首さくいんで、その部首の漢字がのっているページを調べる。  
(部首さくいんには、部首が、画数の少ないものから順にならんでいます。)
- ③ そのページを開き、漢字をさがす。(同じ部首の漢字が、画数の少ないものから順にならんでいます。)

\*部首とは、漢字を分類するときを目印とする形のことです。

・漢字の読み方がわかるとき……音訓おんくんさくいんを使う。(音訓さくいんには、漢字の読み方が五十音順にならんでいます。)

・漢字の部首も読み方もわからないとき……総画そうかくさくいんを使う。

【手順】① 漢字の画数を数える。

- ② 総画さくいんで、その漢字がのっているページを調べる。(総画さくいんには、漢字が、画数の少ないものから順にならんでいます。)

### 例題

漢字の「校」を部首さくいんで引くには、部首さくいんの何画のところをさがせばよいですか。

### 考え方

- ① 「校」の部首は「木」(きへん)。  
② 「木」の画数は四画。  
↓「木」は、部首さくいんの四画のところのっている。

### 答え 四画

### 問題

- (1) 漢字の「海」を総画さくいんで引くには、総画さくいんの何画のところをさがせばよいですか。数字を書きましよう。 ( 画 )
- (2) 漢字の「花」を部首さくいんで引くには、部首さくいんの何画のところをさがせばよいですか。数字を書きましよう。 ( 画 )

(1) 九(9)  
(2) 三(3)

(1) 総画そうかくさくいで引くときは、漢字の画数を数えます。

(2) 部首さくいで引くときは、部首の画数を数えます。「花」の部首は「艹」(くさかんむり)です。